

私の緑内障(薬剤選択)について

* 未治療の**閉塞**隅角緑内障の患者さんに対しては、ブスコパン(胃腸科)やアトロピン(麻酔科)など様々な薬剤が治療に選択できない場合(下表参照)がありますが、私は、**閉塞**隅角ではありません(あるいは治療済みです)ので、薬剤の選択に制限はありません。

* 治療や薬剤の選択に際して不明な点がございましたら、下記まで 遠慮なくご連絡ください。

かまいしベイ眼科クリニック

佐渡一成

TEL 0193-27-7311

閉塞隅角緑内障の場合に必要な薬剤

(抗コリン薬・交感神経刺激薬)

開放隅角や**閉塞隅角**でも治療済みであれば制限はありません

感冒薬 鎮痛薬(麦角アルカロイド) 鎮咳薬 アレルギー用薬
鎮暈薬 鎮けい薬 排尿障害治療薬 気管支拡張薬 抗不整脈薬
狭心症治療薬(硝酸薬) 低血圧治療薬 抗パーキンソン薬
抗てんかん薬(BZ系) 抗不安薬 抗うつ薬 など

このリーフレットのねらい

他科の医師あるいは薬剤師の皆さんは、目の前の患者さんが開放隅角緑内障なのか閉塞隅角緑内障なのか判断できないことが良くあります。

禁忌の薬を処方してしまうと大きなトラブルを生じる危険がありますが、患者さんが処方の禁忌に該当するかどうかの情報があれば薬剤選択の幅が広がり、患者さんにも有用ですので、当院では、このリーフレットを配布しています。

注意

リーフレットを渡した時は開放隅角緑内障だった患者さんが、数年後に閉塞隅角緑内障になる可能性もあることから、このリーフレットの有効期間は本人がこのリーフレットをダウンロード・スマホに保存してから1年です。保存してから長期間経過している場合は、遠慮なく当院にご連絡ください。

また 稀ですが、プラトー虹彩など 通常の眼科検査では投薬後の緑内障発作発生が予測困難な状態があるのも事実ですので、投薬後に 頭痛、視力低下、吐き気などが生じた場合は、休日でも夜間でも構いませんので、遠慮なく 下記までご連絡ください

佐渡一成(携帯) 090-7326-7347